

○レルベア吸入用エリプタ [外]

【重要度】 【一般製剤名】 ビランテロールトリフェニル酢酸塩/フルチカゾンフランカルボン酸エステル Vilanterol Trifenatate/Fluticasone Furoate 【分類】
気管支喘息治療薬 [CS+LABA]

【単位】 △100 エリプタ 30 吸入用 [LABA25 μ g+CS100], ○200 エリプタ 30 吸入用 [LABA25 μ g+CS200]

【常用量】 ■気管支喘息：通常 100, 症状に応じて 200 を 1 日 1 回 1 吸入
■COPD：100 を 1 日 1 回吸入

【用法】 1 日 1 回吸入 [同じ時間帯に吸入] [1 日 1 回を超えて使用しない]

【透析患者への投与方法】 常用量 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (5)

【特徴】 ICS と LABA の合剤。ドライパウダー型。急性発作には SABA を使用する。

【主な副作用・毒性】 発声障害, 口腔カンジダ, アナフィラキシー, 上気道炎, 肺炎, 頭痛, 期外収縮, 鼻咽頭炎, 腹痛, 関節痛, 発熱など。過度の使用により不整脈, 心停止等の重篤な副作用が発現する危険性がある (1)

【吸収】 両薬剤とも経口投与時には初回通過効果を受ける (1)

【F】 ■吸入：ビランテロール 27.3%, フルチカゾン 15.2% (1) ■経口：ビランテロール 2%未満, フルチカゾン 1.26% (1)

【tmax】 ビランテロール：5min, フルチカゾン：1hr [吸入] (1)

【代謝】 CYP3A4 で代謝 (1) ビランテロール：O-脱アルキル化により代謝, フルチカゾン：加水分解される (1) いずれの代謝物にも活性はない (1)

【排泄】 尿中回収率：ビランテロール 50.4% [po], フルチカゾン 2% [iv] (1) 両薬剤とも P-gp の基質である (1) 【CL】 ビランテロール 134L/hr [吸入] (1) フルチカゾン 183L/hr [吸入] (1)

【t1/2】 ビランテロール：2.5hr [吸入], フルチカゾン：27hr [吸入] (1)

【蛋白結合率】 ビランテロール 93.9%, フルチカゾン 99%以上 (1)

【Vd】 ビランテロール 165L/man, フルチカゾン 661L/man [iv] (1)

【MW】 VT 774.77, FF 538.58

【透析性】 除去されないと思われる (5)

【O/W 係数】 フルチカゾンフランカルボン酸エステル LogP=3.47 [推定値] (1) ビランテロールトリフェニル酢酸塩 LogP=1.4 [1-オクタノール水系, pH7.0, 推定値] (1)

【備考】 使用後はうがいを行う [うがいできない場合は口腔内をすすぐ] (1) 開封後 6 週間以内に使用。残り回数が一桁になるとカウンターの片側が赤くなる。

【更新日】 20200820

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。